

公益信託世田谷まちづくりファンド

第27回助成事業 審査講評

まちづくり活動部門

【3回目応募グループ】

<4-1 実家なんとかし隊>

- ・毎回のイベント経費が主たる支出かと思うのですが、助成が終了した時の収入確保の算段を、かなり戦略的に進められてはと思います。広報は、そのための手段であります。またクラウドファンディングも、一過性のマネタイズですので、継続したマネタイズのプランがあつてこそ、クラウドファンディングをどのように活用するかが見えてくるとと思います。一般部門終了後、キラ星に挑戦してはいかがでしょうか？ 実家の不用品リサイクル活動は、事業化するに有用な切り口だと思います。

<4-2 小径のノエル実行委員会>

- ・理屈よりも、わくわく感で投票しました。本当なら、まちづくりファンドの助成も最後ということで、希望通りの金額がもらえて、思う通りの活動ができる状態で見えたかったです。規模も大きくなり、イベントが定着してきて、参加してくれるお店や人が増えて来ていると思います。今後どのような形で継続していくことができるか、イベントの運営と並行して考えていくのは大変だと思いますが、自立運営の体制づくりへの成果を期待します。